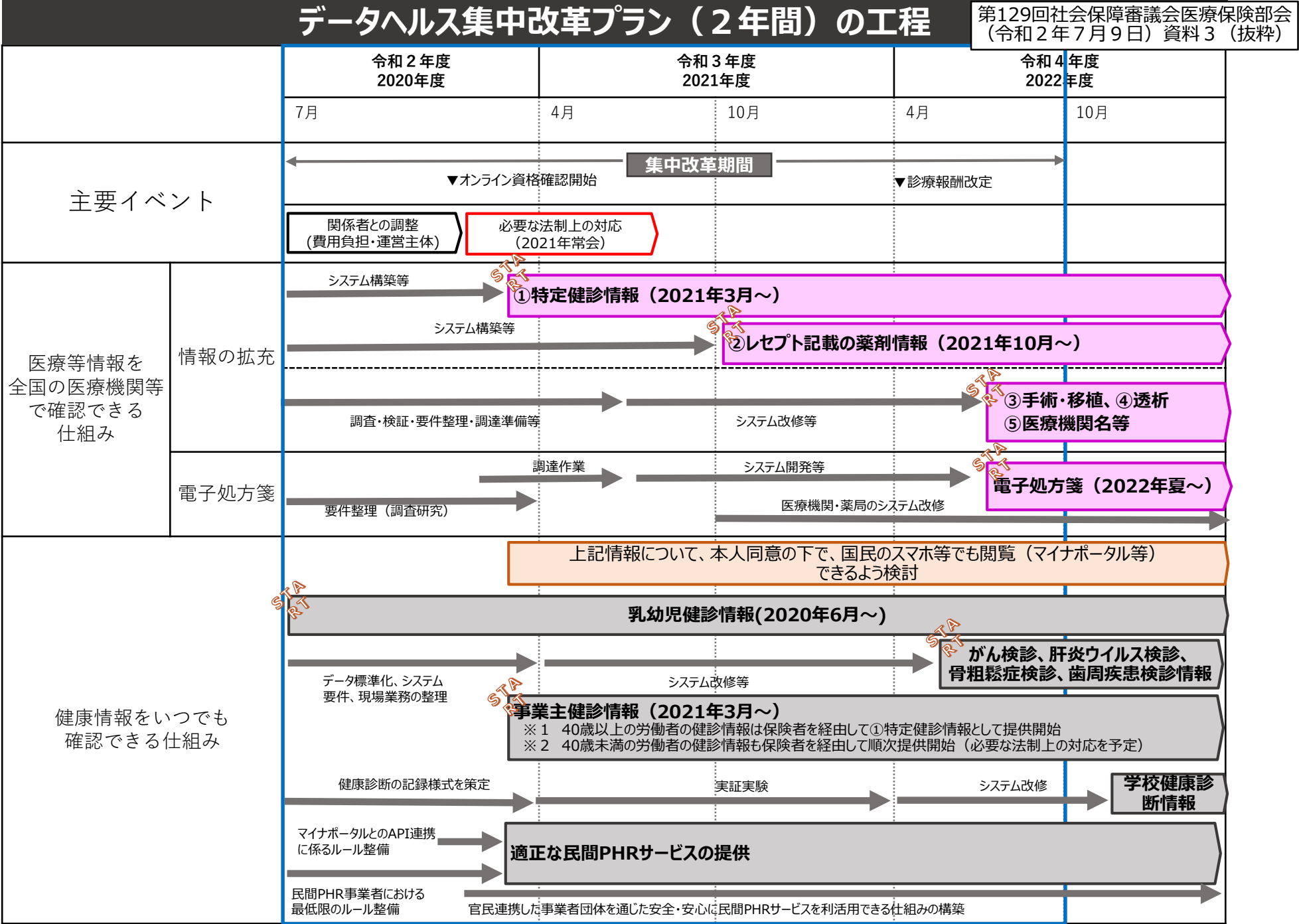


データヘルス改革とその対応について

国保健康保険中央会
保健福祉部保健事業課



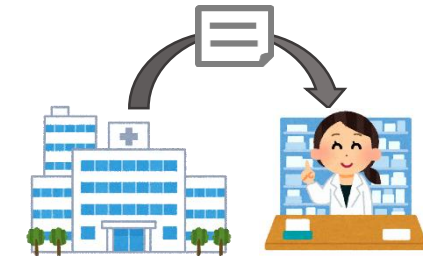
オンライン資格確認は今後のデータヘルスの基盤となります

今後拡大予定の機能

- ・ 現在全国の医療機関・薬局で確認できる情報は、薬剤情報・特定健診等情報のみですが、**対象となる情報を拡大**します。（令和4年夏を目処）
手術、移植、透析、医療機関名といった項目が対象となる予定です。
- ・ オンライン資格確認等システムを基盤とし、**電子処方箋の仕組みを構築**します。（令和4年夏を目処）
紙の受け渡しが不要になり、薬剤情報共有のリアルタイム化（重複投薬の回避）が可能となります。
- ・ **閲覧・活用できる健診等を拡大**します。
- ・ 現在対象になっていない**生活保護受給者の医療券**も対象にする（令和5年度中）など順次対象を広げていきます。
- ・ **モバイル端末でのオンライン資格確認**も検討しています。（令和2年度研究事業）

オンライン資格確認には以下の特徴があり、データヘルスの基盤になっていきます。

- ① 全国の医療機関・薬局と安全かつ常時接続されています
- ② 医療情報を個人ごとに管理しており、本人の情報を確実に得ることができます
- ③ 患者の同意を確実にかつ電子的に得ることができます



これまでの各種会議体での検討状況

※会議名及び開催日の括弧書きのものは、国が主催する会議である。

会議名及び開催日	議事内容 (本委員会以外の会議については、本委員会に関連する内容を記載)
第4回保健事業・データヘルス等推進委員会 (10月16日)	<ul style="list-style-type: none"> データヘルスを取り巻く最近の状況について 医療保険情報提供等実施機関の概要について 今後の進め方及び論点(案)
〔 第4回健康・医療・介護情報利活用検討会 (10月21日) 〕	<ul style="list-style-type: none"> 電子処方箋の仕組みに関する開発・運営主体について
全国国保連合会総合調整会議 (10月26日)	<ul style="list-style-type: none"> オンライン資格確認等システムの基盤を活用したデータヘルス改革について(報告)
〔 第132回社会保障審議会医療保険部会 (10月28日) 〕	<ul style="list-style-type: none"> 予防・健康づくりについて NDBの第三者提供制度の施行等について
〔 第5回健康・医療・介護情報利活用検討会 (11月6日) 〕	<ul style="list-style-type: none"> 電子処方箋の仕組みの構築について
第5回保健事業・データヘルス等推進委員会 (11月11日)	<ul style="list-style-type: none"> 国保連合会・国保中央会保健事業の手引きについて 今後の進め方及び論点(案) 新たな事業及び医療保険等情報提供等実施機関への対応について KDBシステムの将来構想検討に係る調査研究等について KDBデータの利活用を目的としたAIモデル構築について KDBシステムにおける介護明細情報等の活用対応(調査研究)について
〔 第6回健康・医療・介護情報利活用検討会 (12月9日) 〕	<ul style="list-style-type: none"> 電子処方箋の運営主体について
第6回KDB等利活用部会 (12月10日)	<ul style="list-style-type: none"> KDBシステムの将来構想検討に係る調査研究等について KDBデータの利活用を目的としたAIモデル改善構築について KDBシステムにおける介護明細情報等の活用対応(調査研究)について
システム委員会KDBシステム部会 (12月15日)	<ul style="list-style-type: none"> KDBシステムの将来構想検討に係る調査研究等について
第6回保健事業・データヘルス等推進委員会 (2月8日)	<ul style="list-style-type: none"> 「国保連合会・国保中央会保健事業の手引き」について 保健事業の課題と今後の方向性について オンライン資格確認システムの準備状況及び新たなデータヘルス改革関連開発業務への対応について これまでの検討状況及び取りまとめに向けた論点メモ

当初は、今回の委員会で中間取りまとめを行う予定であったが、十分に議論が尽くされていない状況であるため、今回お示しする取りまとめに向けた論点メモに記載の事項について、本日委員の皆様からご意見をいただき、次回の本委員会での再度の協議を経て、本年夏を目処に報告書を取りまとめることとしたい。

取りまとめに向けた論点メモ

これまでいただいたご意見を踏まえ、取りまとめに向けて改めて論点を列記するので、ご意見をお伺いしたい。

1. データヘルス改革に臨む国保としての基本姿勢、新たな事業及び医療保険情報提供等実施機関への対応

- ① データヘルス改革関連システムに係る開発業務への参画の姿勢、運用・保守業務への参画の姿勢
- ② 厚生労働省が推進するデータヘルス改革に向けた体制整備と連合会からの人員派遣の在り方
【資料No.4-3 P.1～4参照】
- ③ 連合会業務との関わり(保険者機能強化支援に資するものであるか)

2. データヘルス改革の進展に対応したKDBシステムの拡充、データ分析・活用の推進

- ① 事業主健診情報等の活用の動きと国保としての対応の在り方【資料No.4-3 P.5～6参照】
- ② 被用者保険者との連携について(被用者保険者の医療レセプト情報・特定健診情報のKDBシステムへの取込み)【資料No.4-3 P.7～31参照】
- ③ ICT技術の進化への対応(AI活用等)【資料No.4-4参照】
- ④ 医療費適正化等の都道府県保健ガバナンス強化のための都道府県向け支援
- ⑤ 連合会・中央会における人材育成(人材の資質向上)

3. これからの国保連合会・国保中央会における保健事業の方向性

- ① 保健事業に係る組織体制の整備・充実(マンパワーの確保、事務職と専門職の連携促進、財源の確保、時代の要請に応じた役割の検討、情報発信の推進)
- ② 保険者機能の発揮に向けた効果的な支援方策の検討(保険者支援のあり方の検討、支援計画策定の必要性)
- ③ 人材育成・職員の資質向上(研修やジョブローテーションの取組、スキルやノウハウが蓄積できる仕組、環境整備)
- ④ 外部との連携(都道府県、被用者保険、保健医療関係団体等との連携)
- ⑤ IT・データを活用した保健事業の推進(データヘルス改革への対応、システム・データの活用による連携促進)